

# 東三河の古墳

1,600 基の古墳はどうして築かれたのか

岩原 剛

## ● 目 次 ●

	はじめに	3
	(一) 古墳の数	3
	(二) 古墳時代研究の先覚者たち	5
	(三) 東三河の地理と古墳の立地	4
	(四) 本書の目的と古墳時代の年代	7
	一 古墳時代前史	10
	(一) 東三河の弥生時代	10
	(二) 環濠集落の出現と争いの時代	10
	(三) 三遠式銅鐸の時代	12
	(四) 首長の出現	13
	二 古墳の出現と豊川流域の三つの地域	15
	(一) 古墳の出現	15
	(二) 前方後方墳と前方後円墳	16
	(三) 豊川流域の三つの地域	16
	三 古墳時代前・中期の東西三河	21
	(一) 前期古墳の低調な東三河	21
	(二) 西三河の前期古墳	21
	(三) 正法寺古墳と三河湾	23
	(四) 東三河の在地的な古墳	25
	(五) 中期前半の円墳に見る、畿内との関係	28
	四 三河の王墓・船山一号墳	30
	(一) 突然現れた大型首長墓	30
	(二) 発掘調査で明らかになった偉容	31
	(三) 後統する首長墓	35
	五 穂国と古墳時代後期の並び立つ首長たち	37
	(一) 東三河を象徴する「穂国」とは	37
	(二) 各地域に並び立つ首長と古墳の変容	38
	(三) 金銅装製品とヤマト王権	40
	(四) 横穴式石室の導入と展開	43
	(五) 寺西一号墳	46

## 六 穂国造の墓・馬越長火塚古墳 49

- (一) 馬越長火塚古墳の「発見」 49
- (二) 公開されなかった発掘調査 50
- (三) 若手研究者たちの注目 51
- (四) 発掘調査で明らかになった偉容 53
- (五) 見瀬丸山型前方後円墳と棘葉形杏葉の評価 54
- (六) 後統する首長墓——大塚南古墳と口明塚南古墳—— 56
- (七) 文献に現れる、二つの「穂国造」 57

## 七 後期古墳の動向に見る地域特性 59

- (一) 豊川市北東部地域 59
- (二) 豊川市南西部地域 62
- (三) 豊橋市北部地域 65
- (四) 豊橋市東部地域 68
- (五) 奥渥美湾沿岸地域 69
- (六) 渥美半島 73
- (七) 奥三河 77

## 八 渡来人の足跡・積石塚古墳 79

- (一) 積石塚古墳とは 79
- (二) 朝鮮半島と日本列島の積石塚古墳 79
- (三) 東三河における積石塚古墳の具体相 80
- (四) 分析と評価 84
- (五) 渡来人と積石塚古墳 86

## 九 終末期古墳と古代寺院 88

- (一) 前方後円墳の終焉と古墳の薄葬化 88
- (二) 東三河の古代寺院 89
- (三) 連合体制から中央集権国家へ 92

## おわりに



〈口絵1〉新城市 断上山10号墳（古墳時代前期、前方後方墳）



〈口絵2〉豊川市 船山1号墳前方部の段築と葺石（古墳時代中期）



〈口絵3〉上空から見た馬越長火塚古墳群（古墳時代後期から終末期）  
（豊橋市教育委員会提供）



〈口絵4〉豊橋市 馬越長火塚古墳（古墳時代後期）  
（豊橋市教育委員会提供）



〈口絵5〉豊橋市 乗小路B 2号墳（古墳時代終末期）  
（豊橋市教育委員会提供）



〈口絵6〉豊橋市 三ツ山古墳前方部の横穴式石室（古墳時代後期）  
（豊橋市教育委員会提供）



〈口絵7〉 田原市 新美古墳（古墳時代後期）



〈口絵8〉 設楽町 丸根古墳の横穴式石室（古墳時代後期）